

科目番号	科目名			英語名		
HE35021 Q235021	医療情報管理学			Medical Informatics		
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室	
4年次	1単位	秋学期 A, B	火曜日	2時限	4B116	
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）						
柳 健一（医学系学系棟・3304）、大川敬子（医科学修士棟 308・3254）、大原 信（病院電算室・3617）、 本間 覚（医学系学系棟・3104）、原田義則（総合研究棟 A 703・7305）、橋本幸一（E棟 2階 211 - 2室・7945）、 五所正彦（医学系学系棟・3415）、土岐浩介（附属病院・7173）、山岸良匡（医学系学系棟・2695）、 鶴嶋英夫（医学系学系棟・PHS 7689）、正田純一（医学系学系棟・5795）						
学習目標						
<p>今、医療の現場では良質な医療とその適切な量について様々な議論がある。記録とその保管や交信は紙媒体から電子媒体に移り、その議論がさらに活発なものとなっている。</p> <p>授業の前半では、まず医療情報とは何か、医療情報システムの基礎と IT の進歩が医療に及ぼす影響について学ぶ。次に、医療事故等を通して情報の価値判断や伝達方法が問題になったこと、また人々の健康志向、患者中心の医療や地域保健への取り組みが展開する中で、健康や疾病予防そして安全に関する情報提供が重要となっていることについて学ぶ。</p> <p>後半では、臨床試験／治験を取り上げる。情報の収集、管理、活用が集中的に行われる好例である。医薬品や治療器具、医用材料、治療・診断装置、機能性食品の開発においては、科学技術的シーズがいかにして臨床現場に結び付けられているのかの全体プロセスとその中で医療情報がどのように利用されているかを理解する必要がある。併せてそのプロセスの効率的な運用のために必須な各種の情報処理技術、各種規制・手続きなど情報の管理プロセスについても学ぶ。臨床研究の蓄積は医療を変えつつある。</p>						
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）： <input checked="" type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 英語・ <input type="checkbox"/> バイリンガル						
	日程	担当教員	授業概要			
1	10/4	柳 健一	医療に関わる各種記録と医療契約（応招義務と守秘義務）			
2	10/11	大川敬子	医療情報システムの基礎			
3	10/18	大原 信	IT の進歩と医療			
4	10/25	本間 覚	医療事故防止とリスクマネジメント			
5	11/1	山岸 良匡	メディアを用いた健康教育			
6	11/15	橋本 幸一	医療・医薬に関わる橋渡し研究プロセスと情報活用概論			
7	11/22	村上 匡史	医薬品・医療機器のシーズ探索におけるバイオインフォマテイクスの活用			
8	12/6	鶴嶋 英夫	臨床研究におけるデータの質と利益相反			
9	12/13	五所 正彦	医療情報と臨床研究			
10	12/20	土岐浩介	医療における薬剤情報の活用			
単位取得要件						
使用教科書・教材 配布資料など						
成績評価 2/3 以上の出席と期末試験						
備考：						